学年	教　科	科　目	教科書名	副教材名
高3 特進文理 共通	国語	現代文B	精選　現代文 B（教育出版）	下記参照

１．授業のねらい

２年次の学習をもとに，「読むこと」を中心により深め，それとともに，「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れることで，適切に思考・表現する力と的確に理解する力を育成し，すべての学習・社会生活・人間関係を支える言語的基礎力を養う。そして，その基礎力をもとにして、判断力や問題解決力を習得させていく。

２．授業のすすめ方

自分自身が読めない，書けない漢字の確認と，自分が答えられない語句の意味調べという予習の段階で，どれだけ文脈の理解が正確にできたかを常に確認していく。文章を読み解くための基礎知識の確認と定着，そして，応用力を身につけることを意識したうえで授業に臨むこと。また，授業を通して身につけた能力を運用できるように，プレゼンテーションやレポートを課していく。加えて，二学期からは受験を意識した問題演習を増やしていく予定である。

３．学習上の留意点

・２年次の教科書を継続使用する。紛失しないよう十分に注意すること。３年生では，目次にあるⅡ部を学習する。
・教科書をじっくり読み，予習を十分にして内容を把握したうえで授業に臨むことが大前提である。
・現代文は，すべての学習・人間生活の基礎となる科目なので，その自覚をもって積極的に授業参加して欲しい。

４．副教材・参考文献

『核心漢字2500＋語彙1000』

３年間継続使用する。紛失しないよう十分に注意すること。大学入試の自学自習用として使用する。

『完成 現代文』

現代文の正しい読み方・考え方に習熟することと，大学入試に向けての更なる学力の充実を目的としている。要約力をもって素材を読み解き，解く観点を知ったうえで設問に取り組む習慣を身につける。要点をまとめて要旨を書く練習を繰り返しながら，記述力・表現力を鍛え読解力を高める。また，小論文対策としても使用する。書くことが苦にならないようにするために使用するものである。毎回，問題文を各自が徹底的に調べあげて設問を解くこと。定期考査には範囲を指定して，応用問題を加えて出題する。

５．評価方法

・定期考査や小テストを中心に，出席状況や授業への取り組み状況（関心・意欲・態度），発言（思考・判断），発表（問題解決能力・プレゼンテーション能力）などを総合的に判断して行う。
・定期考査は中間考査と期末考査をそれぞれ100点満点で年に３回行う。記述式で実施する。
・平常点は１学期に20点，２学期10点でそれぞれつける。
・小テストは大学入試の漢字または語句に関するものを実施する。（平常点に換算）
・課題の提出は与えられた課題を確実に消化しているかをみるが，ただ単に設問を解いただけで，何の工夫もしていないものは，評価の対象にはならない。特に記述部分に手抜きがないかを重点的に確認する。
・授業ノートの提出は，予習状況ならびに授業の消化と自分なりの工夫をどれだけしているかをみる。

６．定期考査

教科書の内容から出題する。応用問題も出題する。以下に今年度の予定を示す。

１学期中間考査　　評論　小説　詩歌　『錬成 現代文』
１学期期末考査　　評論　小説　詩歌　『錬成 現代文』
２学期期末考査　　評論　小説　評論　『完成 現代文』
※状況によって多少の変動がある場合があります。

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	四月 五月 六月 七月	評論 評論を読んで，構成・展開・要旨を的確に捉える。 環境問題・進化論・技術について書かれた評論の意図を捉え、自然観について考えを深める。 小説 小説を読んで，人物・情景・心情の描写を的確に捉え、表現を味わう。 舞台や時代の背景などを踏まえ，人物の描写や心理の推移を読み取り，人の生き方について考えを深める。 詩歌 詩歌を読んで，作者の意図や描写を的確に捉え，表現を味わう。 詩歌の表現について特色を捉え，作品を作ったり鑑賞文を書いたりすることに役立てる。	・取り組み態度 ・音読や朗読など ・発言の意欲とその内容 ・ノート点検 ・定期考査 ・小テスト ・課題提出	・文章の論理構造に着目して評論文を読み解く力を養う。 ・論の展開にそって，筆者の主張をまとめる。 ・登場人物の境遇・性格・心理がどのように描かれているのかを理解する。 ・比喩表現や視点人物に注目して，物語のさまざまな捉え方について話し合う。
二学期	九月 十月 十一月 十二月	評論 評論を読んで，筆者の意図を的確に捉える。 今という時代における，自分たちの身の回りの世界について新たな認識を得て，自分の考えを深める。 小説 小説や戯曲を読んで，人物，情景，心情の描写を的確に捉え，表現を味わう。 舞台や時代の背景などを踏まえ，人物の描写や心理の推移を読み取り，人の生き方について考えを深める。 評論 評論を読んで，構成・発展・要旨を的確に捉え，論理性を評価する。 人間と世界の関係性について自分の考えを深め，発展させる。	・取り組み態度 ・音読や朗読など ・発言の意欲とその内容 ・ノート点検 ・定期考査 ・小テスト ・課題提出	・筆者が現代社会をどのように捉え、「私」についてどう考えているのか，関心を持たせる。 ・主人公の緻密な分析を読み取り，心理状況を理解している。 ・近代の矛盾を克服する方法について考えながら文章を読むようにさせる。
三学期	一月 二月 三月	卒業前教育を実施		

※シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。